

やっぱり暖房はガスがええんじや!



岡山ガス

www.okagas.co.jp

CGCS オータムキャンペーン実施中!



2011年12月23日(金)

山陽新聞

## 学芸館高2年生3人

NZのユネスコフォーラム参加

# 被災地支援で意見交換



東日本大震災の被災地でボランティア活動を行った岡山学芸館高校(岡山市東区西大寺上)の2年生3人が、災害復興をテーマにニュージーランドで開かれた国連教育科学文化機関(ユネスコ)のフォーラムに参加。アジア太平洋地域の約20カ国から集まった若者と交流し、被災地支援について考えた。(安田祐二)

3人は黒沢圭二君(17)がある中・高校生、大学  
藤本倫代さん(17)矢原綾  
乃さん(17)。フォーラム  
は、2月に大規模地震の  
あったクライストチャー  
チ市で今月9、12日にお  
り、実際に災害に遭った  
り被災地でのボランティ  
アを体験したりしたこと  
最終日のプレゼンテーション  
に向け話し合う黒沢君(右か  
ら2人目)と矢原さん、藤本  
さん(同4人目、5人目)

がある中・高校生、大学  
生、社会人計約100人  
が集まった。  
黒沢君らは県青年団協  
議会などが8月に岩手県  
陸前高田市へ派遣した青  
少年ボランティアに参加  
し、土砂やがれき撤去を  
経験。フォーラム開催は  
同高の英語教師の紹介で  
知り、英文エッセイによ  
る選考を通過した。日本  
からは他に、東北大学の学  
生2人が参加したとい

## 奉仕体験通じ視野広がる

ろ。  
現地では各国の若者か  
ら台風や洪水、火山噴火  
といった災害について聞  
き、復興へ意見を交わす  
などした。最終日はそれ  
ぞれが取り組める支援策  
をグループや個人でア  
ンゼンテーション。3人は、  
若者を中心に支援の輪を  
広げるため、日本でも大  
震災に遭った神戸と仙台  
市でのフォーラム開催を  
東北大学の学生らとともに  
提案した。

今回のフォーラムにつ  
いて黒沢君は「世界各地  
でさまざまな災害が起き  
ていることが分かり視野  
が広がった」と振り返る。  
藤本さんと矢原さんは  
「海外の若者はボランテ  
ィアへの意識が高く、見  
習うことが多かった」と  
話し、帰国後に交流サイ  
ト「フェイスブック」で  
ボランティアグループを  
立ち上げた。